とし、1に満たないときは1とする。）

算式Ⅰ

$J = 0.31 \times (k - j) + \gamma$

算式Ⅰの符号

［略］

k　令和２年から令和４年までの各年における人口増減率の合計数を3で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

γ　特別区、指定都市、中核市及び施行時特例市にあつては2.74とし、特別区、指定都市、中核市及び施行時特例市以外の市にあつては3.05とし、町村にあつては3.33とする。

K　次の算式Ⅱによつて算定した数（当該数に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が３を超える場合には3とし、1に満たないときは1とする。）

算式Ⅱ

$K = 0.28 \times (m - 1) + 2.16$

算式Ⅱの符号

［略］

m　令和２年から令和４年までの各年における転入者人口比率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

L　次の算式Ⅲによつて算定した数（当該数に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が３を超える場合には3とし、1に満たないときは1とする。）

算式Ⅲ

$L = -0.34 \times (o - n) - 0.36$

算式Ⅲの符号

［略］

o　令和２年から令和４年までの各年における転出者人口比率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

M　次の算式Ⅳによつて算定した数（当該数に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が３を超える場合には3とし、1に満たないときは1とする。）

算式Ⅳ

$M = 124.22 \times (q - p) + \delta$

算式Ⅳの符号

［略］

とし、1に満たないときは1とする。）

算式Ⅰ

$J = 0.31 \times (k - j) + \gamma$

算式Ⅰの符号

［同左］

k　令和元年から令和３年までの各年における人口増減率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

γ　特別区、指定都市、中核市及び施行時特例市にあつては2.39とし、特別区、指定都市、中核市及び施行時特例市以外の市にあつては2.87とし、町村にあつては3.23とする。

K　次の算式Ⅱによつて算定した数（当該数に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が３を超える場合には3とし、1に満たないときは1とする。）

算式Ⅱ

$K = 0.29 \times (m - 1) + 2.14$

算式Ⅱの符号

［同左］

m　令和元年から令和３年までの各年における転入者人口比率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

L　次の算式Ⅲによつて算定した数（当該数に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が３を超える場合には3とし、1に満たないときは1とする。）

算式Ⅲ

$L = -0.34 \times (o - n) - 0.33$

算式Ⅲの符号

［同左］

o　令和元年から令和３年までの各年における転出者人口比率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

M　次の算式Ⅳによつて算定した数（当該数に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が３を超える場合には3とし、1に満たないときは1とする。）

算式Ⅳ

$M = 127.39 \times (q - p) + \delta$

算式Ⅳの符号

［同左］